市川市議会は毎年4回、2月、6月、9月、12月に定例会を開きます。
市議会だよりは原則として定例会が終了した月の翌々月の第2土曜日に発行（新聞折り込み）し、審議内容をお知らせしています。

いちかわ 市議会だより

2009年（平成21年）第183号
1月1日（祝）
発行 市川市議会
編集 議会運営委員会
市川市八幡1-1-1 ☎334-1111
http://www.city.ichikawa.lg.jp/cou01/1541000002.html

健康都市の取り組み 市川市から世界へ

開会式

写真上：還暦式　村上正治先生メモリアルちばマスターズオーケストラによる記念演奏
写真下：インターナショナルデイ民族衣装ファッションショー

第3回健康都市連合国際大会

平成20年10月23日（木）から26日（日）にかけて、13の国と地域、世界機関、国内の参加都市等から、延べ4992人の参加者が集まり、第3回健康都市連合国際大会が開催されました。

今大会は、「健康で安全な都市社会」をメインテーマとして、市川市文化会館での開催宣言、記念コンサートを皮切りに、市長サミット、基調講演、分科会、絵日記コンクール表彰式などのプログラムが行われました。25日の市長サミットに続いて行われた「健康都市市川宣言」では、健康で安全な都市社会の実現に向けた様々な具体的なプランが発表されました。

また、大会期間中には、市内初となる「還暦式」や、「インターナショナルデイｉｎいちかわ」などの共催イベントも多くの参加者を集めて、市内各所で行われました。

身近に感じられる開かれた議会、活性化された議会を目指して

市議会議長　金子　正
市議会副議長　小林妙子

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、お健やかで希望に満ちた初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中は、市議会に対しまして深いご理解と温かいご支援ご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、北京五輪に沸き、選手の皆さんの頑張りに夢と感動を覚えましたが、一方で、原油や原材料の高騰、米国発の金融危機、自然災害の発生や相次ぐ食品偽装問題に不安を感じる等、光と影が見え隠れした一年となりました。

また、本市におきましては、10月に健康都市連合国際大会が開催され、「健康」をキーワードとして様々な施策が行われましたが、これを機に市民の皆様の健康は勿論のこと、都市の健康というものを真剣に考えて参りました。

さて、地方分権型社会の到来により、市議会における役割もますます重要となり、その責任の重さというものを改めて痛感しております。市議会といたしましては、「市民の皆様が身近に感じられる開かれた議会・活性化された議会」を目指し、インターネットによる議会中継や様々な情報の公開等、議会改革に取り組んで参りましたが、昨年、9月定例会から議会改革の一環として、これまでの議事運営を大きく変え、全議案一括議題及び会派別質疑制、一問一答制を導入するとともに、これまで要点筆記であった委員会記録をほぼ全文に近い概要記録にいたしました。また、電子採決表示システムを導入し、議員の賛否の状況を明らかにすることにより、よりわかりやすい議会が展開されるようになりました。

今後も引き続き、市民のための議会であることを念頭に改革を進めるとともに、これまで以上に皆様の声に耳を研ぎ澄ませ、その期待に応えるべく、誠心誠意、努力して参る所存でございますので、皆様の変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様にとって幸多き年になりますよう心からお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。